

2019年

# 環境活動レポート



 東京清掃株式会社

本レポートの対象期間:2019年1月1日~2019年12月31日

作成日:2020年1月14日

改訂日:2020年1月29日

## 目次

環境方針 .....	2
事業所の概要 .....	3
環境目標とその実績 .....	5
主要な環境活動の内容及び取組結果の評価及び次年度の取組内容 ..	6
環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無 .....	7
代表者による全体の評価と見直しの結果 .....	7

# 環境方針

## 《基本理念》

東京清掃株式会社は、「街の暮らしをまるごとクリーンサポート」を合言葉に、暮らしを支える施設や設備の清掃及びメンテナンスを通じて、環境に配慮し、住みよい地域環境と地球環境の実現のため環境に配慮した行動を行います。

## 《基本方針》

1. 次の環境保全の重要項目に対して、環境目標を設定し取り組み、必要があれば見直しを行います。
  - ① 省エネルギー・省資源を推進する。
  - ② 廃棄物の排出抑制と適正処理を行う。
  - ③ 施工現場周辺の清掃を積極的に行い、地域の環境改善に貢献する。
2. 環境関連の法規制、条例、及び当社が同意するその他の要求事項を遵守します。
3. この環境方針を全従業員に周知し、環境教育を推進します。

2014年9月1日制定

2017年2月1日改訂

東京清掃株式会社

代表取締役 北川 天規

## □事業所の概要

### 事業所名及び代表者名

東京清掃株式会社

代表取締役 北川 天規

### 所在地

本社 〒158-0087 東京都世田谷区玉堤1-27-21

車庫 同上

### 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

責任者 : 鈴木 晴子 TEL:03-3703-2411 FAX:03-3703-2413

### 事業内容(認証・登録の範囲)

給排水設備清掃・メンテナンス、浄化槽清掃、汚泥収集運搬、建物・公園清掃

一般廃棄物収集運搬業(23区汚泥)

浄化槽清掃業

産業廃棄物収集運搬業(東京都、神奈川県、埼玉県)

取扱種目(汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、  
ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類)

一般建設業(管工事)

### 許可の内容

産業廃棄物収集運搬業				
都道府県	許可番号	許可年月日	有効期限	許可品目
東京都	13-00-018468	令和元年6月1日	令和6年5月31日	汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、ゴムくず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類
神奈川県	01402018468	平成29年1月27日	平成33年12月6日	汚泥、廃油
埼玉県	01101018468	平成27年6月30日	平成32年6月27日	汚泥、廃油
千葉県	01200018468	平成29年9月25日	平成34年9月24日	汚泥、廃油

一般廃棄物収集運搬業				
都道府県	許可番号	許可年月日	有効期限	許可品目
東京都 23区	350号	平成30年4月1日	平成32年3月31日	汚泥

浄化槽清掃業				
都道府県	許可番号	許可年月日	有効期限	許可品目
東京都 23区	㊟22	昭和53年11月10日	期限なし	し尿浄化槽清掃

一般建設業許可				
都道府県	許可番号	許可年月日	有効期限	許可品目
東京都知事	第137223号	平成28年8月30日	平成33年8月29日	管工事業

#### 廃棄物の収集運搬量

一般廃棄物 1140.94トン／年(平成31年1月～令和元年12月)

産業廃棄物 223.06トン／年(平成31年1月～令和元年12月)

従業員数 15名

事業所の延べ床面積 74m<sup>2</sup>

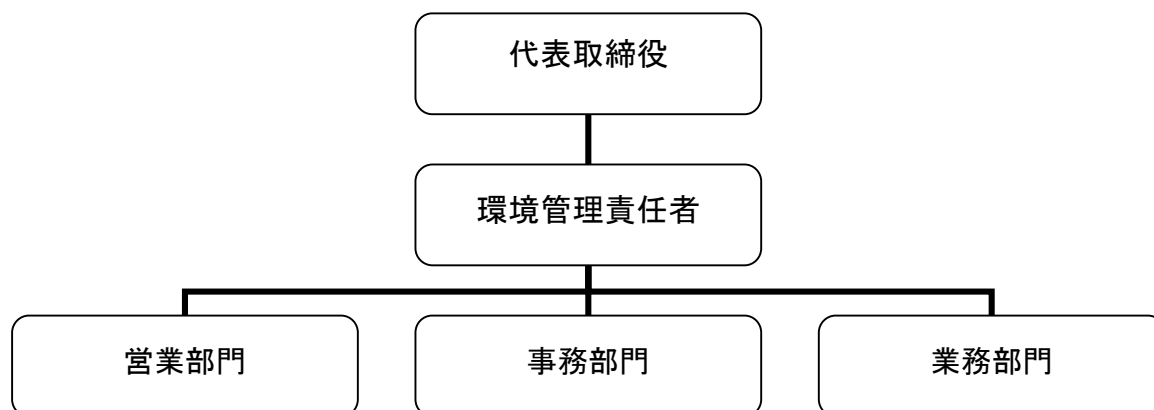
車庫の面積 156m<sup>2</sup>

設立年月日 昭和29年5月

資本金 1,000万円

売上高 36,900万円／平成30年度

## 組織図



## 保有車両

汚泥吸引車 4トン車 2台 3トン車 3台 2トン車 2台  
 平ボディタイプトラック 2トン車 1台  
 ワゴン車 3台 軽トラック 1台  
 乗用車 2台

## □環境目標とその実績

当社の事業活動における環境負荷を「環境負荷の自己チェック」で把握し、次の 6 項目を環境目標として策定した。

詳細内容及び実績は下記の通りである。

環境目標	2014 年 (基準年)	2019 年			2020 年	2021 年
		年間実績 2014/1~2014/12	目標値 基準年比	実績		
(参考)二酸化炭素 総排出量削減 (kg-CO2)	69,703	—	—	—	—	—
電気使用量の削減 (kWh)	12,901	△7% 11,998	12,830	△	△8%	△9%

ガソリン使用量の削減 (ℓ)	7,652	△7% 7,116	3,226	○	△8%	△9%
軽油使用量の削減 (ℓ)	20,209	—	21,217	—	—	—
水道使用量削減 (m <sup>3</sup> )	287	△7% 266.9	207.0	○	△8%	△9%
事業系廃棄物量削減 (袋)	(2015年) 203	△4% 191	261	×	△5%	△6%
グリーン購入費用率 (%)	(2015年) 44	44%以上	39.45	×	基準年の 平均以上	基準年の 平均以上
車両燃費(ディーゼル車) (km/ℓ)	(2018年半期) 4.95	4.95以上	5.57	○	基準年の 平均以上	基準年の 平均以上
環境配慮		作業終了後及び会社周辺の清掃。 現場ごとに作業手順を確認して節電、 節水を推進する。			継続	継続

○:目標達成

△:目標未達成であるが基準年より改善

×:未達成

二酸化炭素排出係数: 0.509 kg-CO<sub>2</sub>/kWh

## □主要な環境活動の内容及び取組結果の評価及び次年度の取組内容

エコアクション21の取組みで社員の環境意識が向上。今後はさらに目標達成の取組継続を進める。

環境活動計画の内容	取組結果の評価	次年度の取組み内容(予定)
電気使用量の削減 ① 昼休みの消灯 ② エアコン暖房室温20℃ ③ クールビズ運動 ④ パソコン省エネ設定	① 昼休みの消灯の実施は、およそ90%であった。 ② 室温管理の実施は、約80%であった。 ③ クールビズは、10月一杯実施した。 ④ PCの省エネ設定チェックを行った。継続する。	① 昼休みの消灯は、実施率100%を目標に施策を打つ。 ② 室温管理の実施は、現状を維持する。 ③ クールビズはその年の気候に合わせて期間を検討する。 ④ PC省エネ設定の運用をチェックする。

<b>燃料使用量の削減</b> ① ガソリン使用量の削減 ② 軽油使用量の削減	昨年度途中から燃料の使用量ではなく、燃費のデータを収集。	前年の燃費計量データを基準値として、燃費目標を設定し、削減活動を開始する。
<b>事業系廃棄物量削減</b> ① 両面コピーの推進 ② 廃段ボールの再利用	① 活動計画の内容の実施。 ② 全てリサイクルへ回している。	① 定量的評価を開始する。 ② 引き続き継続。
<b>水道使用量の削減</b> ① 節水シールにより呼びかけ ② 節水弁の調整	① 節水シールの追加掲示を実施。 ② 節水弁の調整をした。	① 節水シールの継続。 ② 節水弁調整の継続。
<b>グリーン調達</b> の推進	本年は天災の影響もあり、どうしてもグリーン購入率が低下してしまった。	結果を見て事務用品だけの集計を検討する。
<b>環境に配慮した現場作業</b> の推進	① 作業終了後及び会社周辺の清掃。 ② 現場ごとに作業手順を確認して節電、節水を推進する。	作業手順の効率化に取り組む。 ルートの精査を行い、燃費をよくする

## □環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社に適用される環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価した結果、違反はありませんでした。

なお、関係当局よりの違反及び訴訟等は、過去3年間ありませんでした。

## □代表者による全体の評価と見直しの結果

- ・2015年のエコアクション21の認定後、2回目の更新を経て、社員全員の環境に対する意識が向上してきたことを評価します。

- ・2020年は、全社員の環境に対する意識をより高め、PDCA サイクルに取り組み、「環境目標・環境活動計画の実施」を継続します。

以上